

まちを、人を想いたくなる情報誌

広

Public  
Relations

報

Since1962.

湯

前

<https://www.town.yunomae.lg.jp/>

11

The Monthly  
Nov\_2019  
Vol.461

できたよ、秋の思い出。





植えたコスモスを背に、笑顔で乾杯



## CONTENTS 目次

- 02 まちかどクローズアップ  
馬場地区のコスモス
- 04 特集  
心の灯り
- 18 ホットピ  
那須良輔風刺漫画大賞 / 村枝・森漫画教室 / 中体連駅伝大会 / 熊本県民体育祭
- 22 Monthly Topics  
「湯前の文化財」改訂、JTの森ゆのまえなど
- 24 フォトリポート  
町民体育祭  
湯前小学校運動会 / 湯前保育園、慈光こども園運動会
- 28暮らし・健幸  
自殺を防ぐための支援 / 食材選んでカロリーダウン / 戸籍の窓 / ごみ情報 / 読書のススメ
- 30 Community  
青年団だより / 球磨一周駅伝メンバー紹介 / 協力隊's Diary / 編集あとがき
- 32 インフォメーション  
湯前町職員採用試験

まちかど  
MACHIKADO  
クローズアップ

# 秋模様、 色鮮やかに

馬場地区仁原川沿いにコスモス

8月17日、中山間地域直接支払永野集落(馬場)が仁原川(馬場下橋)仁原橋の両岸約200mにコスモスのタネをまき、10月上旬から中旬にかけて見ごろを迎えました。

地域の景観を良くしようと毎年取り組むもの。今回初めて両岸に植え、一面の田畑をピンク、白、赤などの色鮮やかなコスモスが彩りました。チョウチョやミツバチも花に止まって一休み。10月19日には、農業に携わる区民14人が集まって花見を楽しんでいました。



### 今月の表紙

JTの森ゆのまへの森林保全活動には、湯前小学校の緑の少年団も参加。体験活動では、木の板に花やモールを飾り付け、オリジナルマグネットを作りました。自然と触れ合い、仲間との大切な思い出もつくっていました。

アプリ「マチイロ」を使うと、スマートフォンでも広報湯前が読みやすくなります。QRコードを読み取り、簡単な登録を済ませてください。



※アプリのダウンロードや登録は無料ですが、通信料は利用者の負担となります  
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に本町は一切責任を負いません

「自分一人ではどうしようもない」  
情報化で便利になった世の中でも、  
だれかに支えてほしい場面は  
必ずやってきます。

今回はボランティアをテーマに  
人のつながりや、支え合いに  
ついて考えてみませんか？

特集 つなぎ合い、支え合うまちへ。

# 心の灯り

*Lights of Heart*



避難所で働く人や募金を呼びかける学生。自分の時間を使って、助けが必要な人に手を差し伸べる「ボランティア」。特別な活動というイメージは徐々に薄まり、地域、学校、企業が福祉やスポーツ、環境など、幅広く活動しています。しかし、子どもたちは学年が上がるにつれてボランティアをする機会が減っていき、大人であっても活動を長く続ける人は固定化しています。

全戸に光ケーブルを引くなど本町でも情報化が進み、今や外に出らずとも簡単に物が手に入ります。便利な反面、地域での付き合いが減り、頼み事をしにくい時代になりつつあります。

本町の社会福祉協議会の組織には「湯前町ボランティア連絡会」があります。活動する人の交流の場をつくろうと、住民の呼びかけで平成9年に設立。現在、障がい者らの交流を行う「あゆみの会」、児童へ体験活動を提供する「湯前フレンズパーク2019」、「ゆのまへ読み聞かせなすなの会」、老人施設で歌や踊りを披露する「よかばい」の4団体と個人会員、約40人がそれぞれ活動しています。



# Hand in Hand

## 誰かの心にいられる。 こんなありがたい ことはない。

ともに歩み、ともに生きる喜び

「あゆみの会」では知的・身体・精神障がい者と家族、住民らが毎年7月に七夕祭り、12月にクリスマス会を開き、心の交流を交わしています。平成7年から24年間活動を続ける会長の地内豊子さん(76 植木)の思いに迫ります。

左から宮崎尚子さん(浅鹿野)、地内さん、的場紀美子さん(同)。あゆみの会でつながり続ける仲。この日は食事で交流会。宮崎さんと的場さんは地内さんを「湯前のお母さん」と慕う。3人で手を取り合ったときの表情は、見ている側もほっこりするような温かい笑顔。



たくさんの方が自然と笑顔になる、居心地の良い場所

きっかけは言語障がいのある青年の、母からの一本の電話。「息子

がどこにも行きたがらないし、誰ともかかわらない。私が元気なうちはいいけど、将来が心配だ」。当時、役場の福祉課にいた地内さんは「カウンターの中心にいて仕事をするだけでいいの」と自問自答。上司と社会福祉協議会へ出向き、その日のうちにグループを立ち上げることを決意しました。たくさんの方がこの場所でお会い、ゆっくりと歩んでいける会にしたい。「あゆみ」には、そんな意味が込められています。

### 気を使わない、ほっとする場所

会では演奏やゲームなどのレクリエーションを楽しみ、昼食を挟んで一日を過ごします。「今日だけは安心して日したい」。会場で当事者に声をかける地内さんの手は、優しくそっと背中へ。体調や顔色を見ながら、プログラムをその時々で変更するなど、一人一人に心を配ります。お金をかけずに心をつなげたいと、会費として集めるのは一人100円のみ。気兼ねしない、居心地

は今までを振り返りながら、活動を続ける喜びを語ります。

### 「対等」が心地良い

「ボランティアは家族の理解がないとできない。夫は、活動しているときが一番輝いていると言って送り出してくれる」。活動をあげて支えるのは夫の正巳さん(73)。みんなの心であゆみの会が続いていると、地内さんは参加者スタッフ、家族、すべてに感謝します。「私は一人が嫌い。障がいのあるなし、高齢者、子ども関係なく、一人の人間と

の良い場所だからこそ、みんなの向かう足も軽やかです。

運営に協力するスタッフだけでなく、あゆみの会に欠かせないものも一つ。それは昼食のカレーです。大量の具材を切ったり、巨大な茶煎り窯でひたすらかき混ぜたりして汗を流す、料理ボランティアは縁の下の力持ち。集いを終えた後日、地内さんは関係者へお礼の手紙を送ります。「相手の心を深く思いたい」と必ず直筆で、それぞれへのメッセージを添えています。

### 素敵な人の心に自分がいられる

発足当初から参加していた子どもたちは大人になりましたが、ずっとあゆみの会の仲間として会場に出向き、笑顔で交流を続けています。「働きながら自炊もするなど、子どもたちが自立していることを、その家族から聞いたときには思わず涙があふれた。障がいがあってもそこでストップではない。活動を続けることで素敵な人たちの心の中に、自分がいられる。こんなにありがたいことは他にない」。地内さん

して一緒に生きていきたい。一方的に何かしてあげるのではなく、お互いを認め合い、寄り添い合っつてともに生きる。対等の関係でいられるからこそ自分も相手も心地良い。一番支えられているのは私。だから自分が一番幸せ。私は頑張っていないし、頑張る必要もない。球磨弁で言う『できたしこ』(できた分だけ)。それがボランティアの真髄だと感じている。できる範囲で、楽しみながら、だけど学ぶ姿勢は常に忘れずに。これからもゆっくりに歩みを進めていきたい」と優しく微笑みながらその理由を話してくれました。

### 縁の下の力持ち 好きな料理だから こだわりたい



昼食のカレーを作り続ける  
北御門 逸女さん (77=上染田)

手作りのカレーを皆さんに提供したいということでまりました。ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、ゴボウなどを基本に、粉末状にしたハコベやヨモギなどの野草、季節によって梨を入れてみるなど、時々で材料を変えます。野菜と鶏の骨で出汁をとりますが、タマネギは出汁だけで5%、全部で20%使い、出汁に丸1日、完成までには4日間かかります。みんなはおいしい、これでいいと言ってくれますが、自分の中ではまだまだ。人に出すものは妥協したくないし、心からおいしいと喜んでほしいです。私は他のことはできませんが、自分の好きな料理なら協力できます。調味料や材料の買い出しなど、主人の協力や理解にも感謝しています。



手間暇をかけ、愛情を込める

# Laugh with

自然と触れ合い、笑い合う

## 言葉では表せない 表情に出会える瞬間。



濱中誠さん

活動中にパンダナを巻くことから子どもから「パンダナおじさん」と呼ばれる。最近は「サイクリングおじさん」とも。現ボランティア連絡会長。

湯前フレンズパーク2019代表の濱中誠さん(70 野中田2)は、湯前小学校の児童が野外活動などを体験する機会をつくっています。

### 普

段できない体験をすることから工夫して、生きる力を学んでほしい」と濱中さんは学校の土曜授業がなくなったことを機に、平成14年にフレンズパークを発足。「こうしたらおもしろいんじゃないか」と自らの好奇心から、いろんな体験を考えます。竹を飯ごう代わりにしてご飯を炊く「たかんぼめし」やサイクリング、五感を使って自然を感じる「ネイチャーゲーム」など、体験はどれも児童にとって新鮮なものばかりです。

### 達成する喜び

かつては大人の野外活動クラブにも参加。「苦しみを越えた先の達成感に魅力を感じてきた。転びますが、きれいな道よりも走っていることを実感できる」と月に一度は山や森の中でマウンテンバイクを漕いで汗を流します。



最初に自分が触った木を、目隠しをして手の感覚のみで当てる「ネイチャーゲーム」。初めての体験に児童はドキドキ(写真=社協提供)

子どもたちとの触れ合いの中で、どんな喜びを感じているのでしょうか。

竹が焦げるまで焼きたかんぼめしのおいしさは、普通のお米が高級米になるほど。初めは食べるのをためらっていた児童たちも、一度食べるとおかわりが止まりません。川原では焚火を集め、塩イワシを自分で焼いて食べました。中には焦げすぎたり、生焼けだったりしたものもありますが、全員が「おいしい」と口をそろえます。なぜなら、児童たちは濱中さんのように達成する喜びを感じているからです。

### 一緒に笑顔になれる、それが一番

ネイチャーゲームでは、目隠しをして木の肌触りを手で感じ、聴診器を使って木や風の音に耳をすませます。「子どもは大人にはできない表現をする。昆虫を見つけたときの顔は、ワクワクでは言い表せないほどのとびつきりの笑顔。その表情に出会えることが私にとっては、とてもすごいこと。一緒に何かをして、一緒に笑顔になれる、それが一番」と活動の喜びを話します。最後に、濱中さんは支え合いの大切さをかみしめて自身の原点を振り返ります。「実家の近所にあった貸本屋の夫婦が自分のことをそっこのけで人のお世話をしていた。私は幼いなりにその人たちのことを『いいな』と感じていた。自然と二人のように何かをしたいと思うようになっていったのかもしれない。地域は経済でも建物でもなく、人とのつながりが何よりも大事。そう思ってくれる人が増え、自然と支え合うことのできる地域になってほしい」。

### 好きの延長が 私たちのボランティア



よかばい 代表  
あねがわ みねこ  
姉川 美恵子さん  
(67 = 上里3)

歌や踊りが大好きな9人で、ことし7月にボランティア「よかばい」を立ち上げました。月に一度、老人施設を訪問しています。

運動も兼ねて手遊びを取り入れましたが、ずっと無表情だったおじいさんが、きちんと手を動かしてくれていたり、涙を流してくれたおばあさんの姿を見たりしたときはうれしかったです。9曲40分ほど披露し、最後はくたくたですが、とてもすがすがしい気持ちになります。おじいさんおばあさんたちと一緒に楽しめる時間が、私たちにとって心地良いのです。

町外出身の私からすると、体育祭や各地区の行事など、湯前の盛り上がりはとても素晴らしいものがあると感じています。高齢化が進み、それぞれの存続が危ぶまれることも出てきましたが、一つ一つが町の元気の源です。会が成り立つにはリーダーも必要。私は人見知りですが、好きな歌や踊りがあったからこそ、前に出ることができました。

私たちのボランティアは楽しさの延長。好きなことだからやっばり止められません。できるだけ活動を続けていきたいです。



楽しむ気持ちを力に変えて活動するメンバー

# Relation



1\_手を動かしながら次の活動につながる話が出ている、なすなの会  
2\_活動する度に大切なつながりが増えていった谷川さん(あゆみの会)

得意、不得意、できる、できない、誰にだってある  
できることが、やらたいことが  
先につながっていく。

楽しいかわり、切れない縁  
身構えなくていい。  
仕切りも垣根もない。

Tanigawa Yoshiko



ボランティア連絡会を当初から支える

谷川 好子 さん (62 = 浅鹿野)

平 成7年に仕事の都合で、鹿児島県から引越してきた谷川さん。翌年「手伝って」と地内豊子さんから気さくな誘いを受けて、あゆみの会へ入会。「当時、近くに特別支援学級の教師が住んでいて、障がいのある子どもが教師の家に遊びに来ていた。その

人とかかわるおもしろさ 道具の準備やプログラムの作成。役割は主に裏方。あゆみの会では周りの様子をうかがい、進行係へ伝えていきます。「あゆみの会は、ほっとする場所であり学びの場。なすなの会で一緒に活

ボランティアは手話で表すと「支える」ではなく「ともに歩く」という意味だと、指を動かしながら教えてくれた谷川さん。「活動している皆さんは他のことも忙しい。だけど自分のことをするだけではなく、他人と一緒に歩こうとしている。ボランティアという名前だけでなく、地域の役員だって同じ。組織に入らずとも動いている人はたくさんいる。垣根や仕切りはない。私は相談を受けても助言はできないし、そんな資格も持っていないけれど、話を聞いて、ほっとしてもらえただけでうれしい。大変なこともあるかもしれないが、この縁を切ってしまったら寂しい」。地域にかかわる人を思いながら、自身になくてはならないつながりができたことを話してくれました。

ボランティアを行うことは、地域に出向くということ。  
たくさんの人が出会い、たくさんの会話を交わしています。  
大切なつながりができた人たちに話を聞きました。

我

が子に本を読み聞かせたら、本好きに育った。効果を実感した園田さんは二人の子どもが町外の学校へ進学したのをきっかけに、町の子どもへの読み聞かせを開始。小学校の全クラスで読み聞かせたいと、知人に声をかけ、なすなの会ができました。「生まれてくる子どもの数も減っている。全員に何かしてあげられるのは」。会員の中に裁縫が得意な人がいたことから話は広がり、布絵本を作った一歳児にプレゼントするようになりました。「演劇をしてみたかった」と裁縫をしながら今度は別の一人がぼつり。演劇の経験者がいて「それなら」と脚本を書いてきました。朗読劇が始まり、湯前小学校の修学旅行の事前平和学習としても披露。毎夏に開く平和学習の始末も会員の一声がきっかけでした。

Sonoda Atsuko



ゆのまえ読み聞かせ なすなの会 会長

園田 篤子 さん (62 = 下里)

可能性は一つじゃない 読み聞かせから始まり、会員のやりたいことが次々に広がっていった、なすなの会。「湯前小での読み聞かせは朝早いので、できる人でやる。全員が一度に集まるのは難しいけれど、それぞれできる時間で、得意なものを生かして活動している。これしかだめだと決めつけなければ可能性が広がる」と園田さんは会員の気持ちを尊重します。近年、夏の平和学習で披露する朗読劇は町内のコーラスグループやギター演奏者と合作し、臨場感あふれる演出にもこだわっています。「毎年できるわけではないけれど、続けていると次が何となく見えてくる。絶対続けなくてはいけないということでもないはず。漫画フェスタで行う不用品バザーなど、私ができるときは誰かが必ずできたしこでやろう」と言ってくれる。実はそれが結構すごいものになっている。みんなの心の中に何かの役に立とうという気持ちがあるから。心の表し方や場所が分からないだけで、きっと誰もが同じ気持ちを持っているはず。園田さんは活動を通じて、人が持つ善意の力を感じていました。

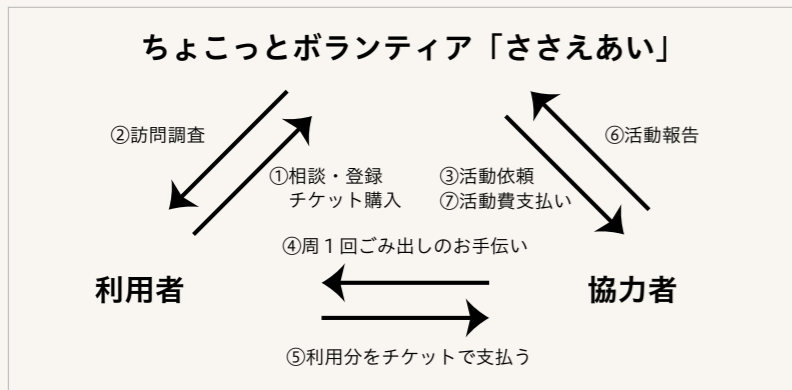
「ともに歩く」人はたくさんいる ボランティアは手話で表すと「支える」ではなく「ともに歩く」という意味だと、指を動かしながら教えてくれた谷川さん。「活動している皆さんは他のことも忙しい。だけど自分のことをするだけではなく、他人と一緒に歩こうとしている。ボランティアという名前だけでなく、地域の役員だって同じ。組織に入らずとも動いている人はたくさんいる。垣根や仕切りはない。私は相談を受けても助言はできないし、そんな資格も持っていないけれど、話を聞いて、ほっとしてもらえただけでうれしい。大変なこともあるかもしれないが、この縁を切ってしまったら寂しい」。地域にかかわる人を思いながら、自身になくてはならないつながりができたことを話してくれました。

## 有償ボランティアが来年4月から始動 気軽に「ちょっと手を借りれる」関係づくり

ちょこっとボランティア「ささえあい」

暮らしの中の「ちょっとした困りごと」がある人を手伝う仕組みです。利用する人、手助けをする人、それぞれを会員として登録します。

- 例 ・分からない書類の代筆 ・電球の交換や重い物の出し入れ  
・ごみ出し ・買い物代行 ・もく浴、授乳の用意や片づけ など
- 利用会員 高齢者、障がい者、子育て世帯などサポートが必要な家庭
- 協力会員 18歳以上で、上記手伝いができる人
- 利用料金 30分以内100円 ※60分以内まで利用可で200円
- 制度開始 来年4月1日～
- 利用の流れ



### 協力会員を募集しています -まずは説明会へ-

- 日時 12月6日(金) 午後1時30分～
- 場所 保健センター
- 内容 「ささえあい」の説明・本町の介護保険制度について
- 申込締切 11月29日(金)
- 問い合わせ、申込先  
社会福祉協議会 ☎0966(43)4117 保健センター ☎0966(43)4112

### 性別年齢問わず たくさんの人の 協力が必要です



社会福祉協議会  
生活支援コーディネーター  
黒木 真也さん

頼む側も頼まれる側も気兼ねすることがないように、少額のお金を支払う有償ボランティアがすでに県内で始まっています。一人暮らしや高齢者のみの世帯、共働きの子育て世帯などが多くなったことで、本町でも「ちょっとした手助け」を求められることが増えてきました。

有償ボランティアへの依頼はさまざま、重いものを運ぶこともあるため、性別年齢問わずたくさんの人の協力が必要です。将来的には学生など若い人にも参加してもらいたいと思っています。ぜひ、皆さんの力を貸してください。

『いらぬ世話係』ではないけれど、ボランティアだと身構えず、自然な気持ちで始められた。住民を早く覚えられたし、ボランティア同士のつながりが自分のためになっていく」と永山さん。自身の活動が他人のためだけではないことを話します。

#### 逆に甘えさせてもらっている

堀川さんはことし3月に運転免許証を返納。「お店や病院までは遠く、治実ちゃんには本当に助けてもらっている」と移動の苦労を話します。永山さんは「昔は縁側を通ると『お茶を飲んで

いって』と言われることが多かったが、今はなくなってきたので少し寂しい」と堀川さんなど呼びかけて、毎週自宅でパッチワークをしながら会話を楽しんでいきます。「パッチワークの春の展示では(治実さんの)旦那さんが40日間、毎日朝夕送迎してくれた。家の外に

出たり、人と話したりするきっかけがあるおかげで、今の私がある」と堀川さんは親の代からの付き合い。母が亡くなっても、かわいがってもらっている。年が離れているからこそ甘えさせてくれる存在」と互いに満面の笑みに向け合っていました。



## 笑顔の「縁側」

今こそ求められる

本町老人会内の組織「シルバーボランティア連絡会」は、高齢者の見守り活動を行っています。写真は会長の永山治実さん(68)上猪(84)と、同じ地区で暮らす堀川澄子さん(84)。活動の内容と二人の関係について聞きました。

夫の定年退職を機に、湯前に帰郷した永山さん。「当時、母が一人暮らしで地域の人にお世話になっていた。何か自分にできることがあれば」と、58歳で老人会に入会しました。

シルバーボランティアは老人会のある地区に二人ずつ。月二回ほど、一人暮らしや高齢者のみの世帯を見回ったり、散歩中に声をかけたりするなどして安否を確認しています。毎年12月には80歳のもち米をつき、湯前中学校の生徒が書いたメッセージを添えて、約200軒の高齢者世帯へ配ります。今まで会員はほぼ女性でしたが、現在4人の男性も活動しています。

#### 他人のためだけでない

上猪地区で見守るのは13人。永山さんは「お変わりないですか」「困ったことはありませんか」などと声をかけます。活動は話し相手になることが主ですが、移動手段のない人の買い物など、頼まれ事も快く引き受けています。

「夫が元警察官で、駐在所にいたころから私もいろんな相談を受けてきた。」

# Our Lights

## 心に宿る「湯前スピリット」 私たちの灯



子どもたちは地域の宝。しっかり見守りたい。

小中学生の通学を見守る

亀山 哲馬さん(72=野中田2)

朝は車の多い交差点に立ち、夕方は犬の散歩をしながら見守っています。学校に行きたくなさそうにしている児童がいたら、一緒に学校まで歩いたこともありました。子どもたちは湯前の宝。交通安全を地域全体で守れるようにしたいです。みんなの笑顔を見るのが私の楽しみでもあります。



リサイクル品を集めて、きれいな町にしたい。

リサイクル品を集めるボランティア委員長

田村 望愛さん(湯前小6年=下染田)

学校でペットボトルやベルマークを集めたり、他の児童に収集を呼びかけたりしています。ペットボトルキャップを集めて、社会福祉協議会へ持っていったときに、お礼を言われたことがうれしかったです。ごみが減って、学校や町がきれいになるように頑張ります。



「人ごとではない」。仲間がいたから動けた。

いち早く被災地へ向かった

藤本 伸介さん(67=上里1)

「人ごとではない」と居ても立っても居られず、熊本地震の本震後すぐに支援物資を被災地へ運びました。各地のグリーンツーリズムの仲間たちと災害対策の勉強会をしていたことで、動きに迷いはありませんでした。現地の子どもの交流も続いています。人とのつながりが一番です。



町の人との、貴重な交流の機会に。

青年団で地域活動に参加する

恒松 明美さん(23=馬場)

婦人会とのごみ拾い、高齢者の誕生会の協力、子どもたちとの交流などを行っています。若者以外と接することが少ないので、つながりが増えることにやりがいを感じています。大人とは身近な話で盛り上がり、子どもたちは次に会ったときも名前を覚えてくれていたので、うれしいです。



いつか、地元に残って踊ってほしい。

中学生に東方組太鼓踊りを教える

多田 一樹さん(43=馬場)

生徒が自ら質問をしてくる姿など、私たちへ答えてくれる姿勢に、教えることの楽しさを感じていきました。本番の発表では「大丈夫かな」と我が子を見守るように心配し、終わった後にほっとしています。いつか地元に残って、また踊ってくれたら。次の世代に太鼓踊りをつないでいきたいです。

ボランティアにかかわるのは一部の人だけではありません。周りを見渡してみてください。町中にボランティアの心が広がっています。



社会福祉協議会 椎葉 正博 事務局長

地域になつていくはず。ボランティア連絡会の設立時に、皆さんが「仰々しいのは似合わない。くだけた言い方が良い」ということから「協議会」にはしませんでした。ハードルは高くないのです。小さな助け合いが繋がっていけば、もつと良い

そぶりや空気感。誰に対してもあふれる思いやり。湯前は小さな町で、大々的なものはないかもしれませんが、間違いなくボランティアの先進地と言えるのではないのでしょうか。有償ボランティアは、近い将来訪れる人口の大幅な減少に備えて今のうちに下地をつくることとが大切。活動が徐々に知られることで、より多くの人がボランティアそのものへ目を向けるきっかけになってほしいです。ボランティア連絡会の設立時に、皆さんが「仰々しいのは似合わない。くだけた言い方が良い」ということから「協議会」にはしませんでした。ハードルは高くないのです。小さな助け合いが繋がっていけば、もつと良い地域になつていくはず。活動する皆さんは「何もなかったら、とりあえずやってみよう」と自分から積極的に動いています。かつて存在した、一人暮らしの高齢者のためにお弁当を作る「白和えの会」など地道に活動を続けていくのは、地域を、人を思う心がないとできないことです。そんな人たちに魅力を感じて「それなら私も」と多くの人がついていっています。ペットボトルキャップを集めてくださるなど、会員以外にもたくさんの方が活動しています。共通するのは一方的に何かしてあげよう、ではなく自然な

Interview

湯前は人と地域を  
思う、小さな先進地  
Area of Advanced Volunteer.



# 一人一人の灯りが 町の未来を照らす



湯前小学校5年生と老人会の「花いっぱい交流」。花を植えながら、高齢者と児童が手をつなぎ合い、言葉を交わすことで、たくさんの笑顔が生まれている。人と人が地域に出向いて顔を合わせることで「助け合い」という大きな花を咲かせるカギだ。

「料理をおいしく食べてもらいたい」「手がけた作品を見てほしい」

喜びの先には必ず人がいます。自分の活動の先にいる人を思うこと。そこがボランティアの源です。

日々何かに追われ、心の余裕がなくなってきた今。困ったときは頼っても良いのです。あなたは一人ではありません。

人から受けた助けに対して私たちは「おかげさま」(お陰様)という言葉で感謝を伝えます。見えていようといまいと、生きている以上は必ず誰かに支えられ、幸せをもらっているのです。

「おかげさまで」「ありがとう」

相手を思っただけで話しかけることが助け合いの種となり、やがて大きな花を咲かせます。一人一人の心がつながっていけば、未来の光も見えてくるはずですよ。

特集 心の灯り(全完)





村枝賢一・森真理漫画教室

一流の技を伝授

- 1\_ 楽し気にペンをはしらせる子ども
- 2\_ プロが直々にアドバイス
- 3\_ 人物を描きながら参加者にコツを教える村枝さん
- 4\_ 一流の技にみんなが笑顔で驚く
- 5\_ 村枝さん直筆のイラスト
- 6\_ 漫画が並ぶ会場。仮面ライダーファンも駆け付けた

「仮面ライダーSPIRITS」などで知られる芦北町在住の漫画家、村枝賢一さんと、「銀のしっぽ」などで知られる妻、森真理さんによる漫画教室が10月5日に湯前駅レールウィング内の展示体験販売施設で開かれ、球磨郡内や遠くは福岡県から24人の参加者がプロの技を学びました。

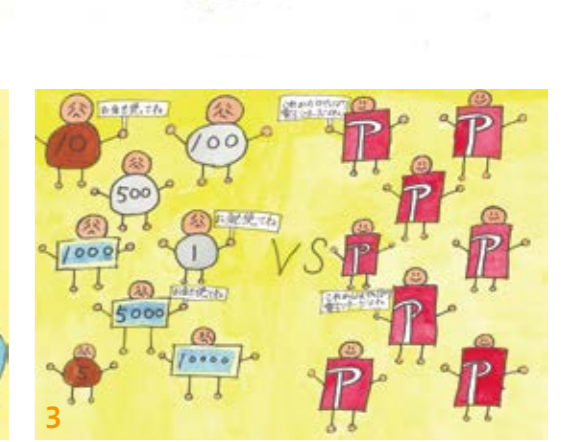
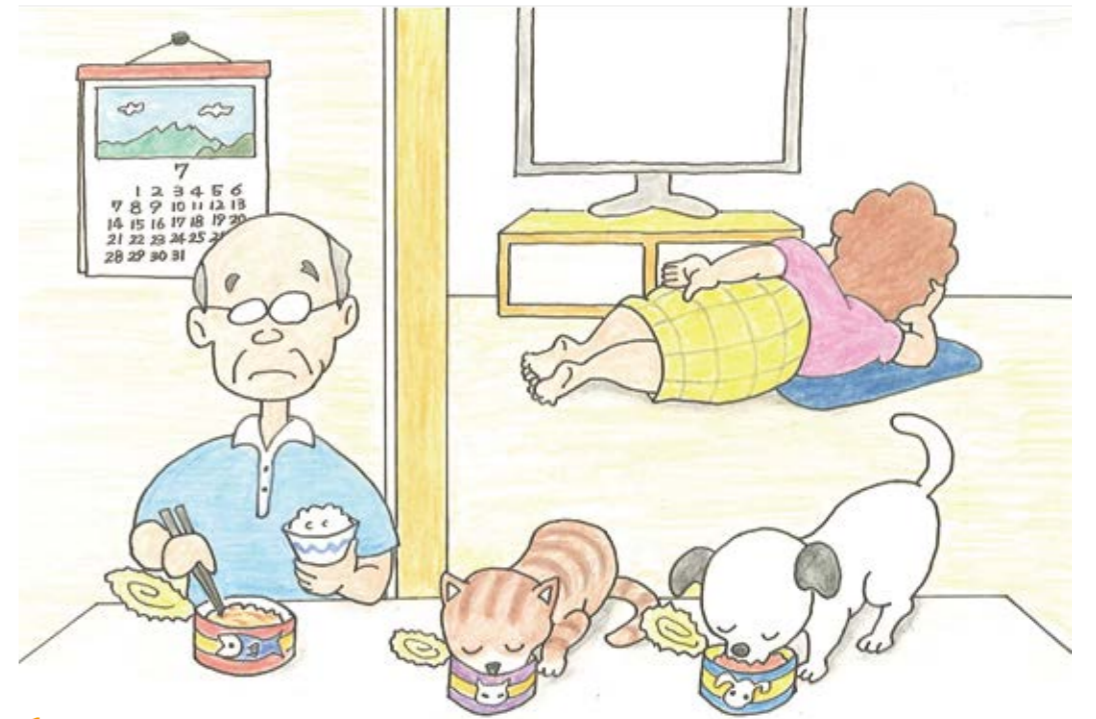
施設を管理する奥球磨スマートタウン研究所が主催し、長谷和人町長が「一流の技を学び、楽しいひと時を過ごしてほしい」と参加者にあいさつ。前半は村枝さんが、キャラクターの顔や体の描き方、後半には森さんが4コマ漫画の描き方を教えました。

村枝さんが手始めに仮面ライダーや参加者の似顔絵をホワイトボードに描くと、参加者は思わず笑顔。「首の位置など実際の人間の構造を意識して「髪は前髪から先に描く」などのアドバイスを参考にしながら、参加者は正面、横、斜めの顔を描いていました。

第28回那須良輔風刺漫画大賞の審査会が10月3日に神奈川県鎌倉婦人子供会館で開催され、一般部門の那須良輔大賞(賞金50万円)に福岡県在住の田中敏恵さん(69)の「ペットフード」が選ばれました。ジュニア部門の那須良輔大賞(中学生の部)は吉田美琴さん(湯前中1年)の「スマホでだんらん」、湯前町長賞は石井愛子さん(湯前小6年)の「お金VS電子マネー」でした。

取り組みは風刺漫画家、故那須良輔さんの出身地である本町が平成4年から開催しているもの。那須さんにゆかりのある、漫画家の多田ヒロシさん、二階堂正宏さん、カサマツヒロシさんの三人が審査員を務めました。今回は一般部門に193点、ジュニア部門に255点、計448点の応募がありました。中でも「新元号」や「あおり運転」「外交問題」「海洋性プラスチックごみ」「災害」などをテーマにし

第28回那須良輔風刺漫画作品  
クスツと448点  
大賞は「ペットフード」



1\_ 分かりやすく笑える大賞作品「ペットフード」2\_ 皮肉とかわいさの両立「スマホでだんらん」3\_ 対比もうまい「お金VS電子マネー」

た作品が目立ちました。

分かりやすく笑わせる

「ペットフード」はペットと一緒に食事をする夫と、寝そべってテレビを見る妻を描き、長年連れ添った夫婦の関係を表現したもの。審査員は「最近笑える漫画が少ない中、ハハハと笑える作品。難しくなく、手軽に描いて人を笑わせ、幸せにすることができ、一コマ漫画の良さが詰まった作品と評価しました。」

スマホでだんらんは「とても皮肉が効いていておもしろい。絵もかわいらしくて楽しい」。お金VS電子マネーは「分かりやすく対比している。小学生とは思えないほど絵がうまい」と評価されました。

表彰式と作品の展示は11月10日にゆのまえ漫画フェスタの会場で開かれ、来年2月ごろからは湯前まんが美術館で作品展を開く予定です。



1\_ 砲丸投げ 5位で陸上男子28連覇に貢献した森川未月選手 2\_ 昨年3位から雪辱を晴らして優勝した水泳男子(郷峻太選手) 3\_ 積極的に仕掛ける王一平選手(卓球) 4\_ 走高跳び 5位の淵上駿選手 5\_ 狙いを定める亀山哲馬選手(ゲートボール)



球磨人吉中体連駅伝大会  
**仲間のために  
 タスキつなぐ**  
 女子5位、男子6位でフィニッシュ

1\_ エースとしてチームを引っ張った落合選手 2,4\_ 全員の思いをつないで最後まで走り切る永濱選手(写真2)と中村選手 3\_ タスキを手に持ちスパートをかける椎葉選手 5\_ 区間3位の中田有咲選手 6\_ 仲間の応援を背に、走り出す深水選手



第74回熊本県民体育祭

**陸上男子V27**

水泳男子も頂点に輝く

第74回熊本県民体育祭が9月13、14日まで、宇城地域を中心に24競技で開かれ20郡市が出場。球磨郡は総合5位で幕を閉じました。陸上競技男子は27連覇を達成し、32回目の優勝。昨年3位の水泳男子も優勝を果たしました。

〈総合成績〉

- ① 熊本市
- ② 菊池郡市
- ③ 八代市
- ⑤ 球磨郡

〈個人成績〉※入賞関係

- 陸上・男子
  - 100m 30~39歳
  - 砲丸投げ・29歳以下
  - 東雄峰
  - 走高飛・29歳以下
  - 淵上駿
- 同・女子
  - 砲丸投げ・34歳以下
  - 安井佳奈
  - 水泳・男子
    - 50m背泳・25歳以上
    - 郷峻太

〈競技結果〉※本町関係のみ

陸上・男子	1位
陸上・女子	5位
水泳・男子	1位
銃剣道	3位
弓道	4位
ソフトテニス	5位
ボウリング	6位
バドミントン・女子	9位
ゲートボール・男子	9位
軟式野球	9位
アーチェリー	12位
卓球	13位

◆競技結果

※(通過順位)(区間順位)

⑤ 湯前中 (女子)	47分35秒
⑥ 湯前中 (男子)	1時間10分21秒
1区 落合諒	(2)(2)
2区 永田悠大	(2)(11)
3区 浜崎魁世	(5)(6)
4区 佐々木献人	(5)(7)
5区 北崎央真	(6)(7)
6区 中村孔亮	(6)(9)
1区 深水帆乃華	(6)(6)
2区 椎葉愛華	(6)(5)
3区 中田有咲	(5)(3)
4区 中田幸恵	(5)(7)
5区 永濱香琳	(5)(4)

↓ノコギリで枝を切り落とす参加者



## 枝木を切って、良質な材に

JTの森ゆのまえ森林保全活動、第3期2回目

第3期2回目的JTの森ゆのまえ森林保全活動が10月19日にゆのまえグリーンパレス炊飯棟近くの町有林で行われ、日本たばこ産業株式会社(JT)の社員や緑の少年団、地元住民ら146人が参加。ノコギリを使って、余計な枝を切り落とす「枝打ち」や木の生育を妨げる他の樹木を刈り払う「除伐」を体験して約2.2㍓の森林を整備しました。

↓コースター作りに挑戦する親子



## 親子の笑顔あふれる工作体験

全体験がワンコイン「ゆのまえ田園マルシェ」

ゆのまえ田園マルシェが9月28日に湯前駅レールウイング一帯で開かれ、親子連れを中心に約50人が工作体験を楽しみました。くま川鉄道30周年記念「くま鉄祭り」の共催イベントとして今回は同施設内に4店が出店。来場者はキッズネイルやハーバリウム、ビーズアクセサリー、レーザーを使ったオリジナルコルクコースター作りを500円のワンコインで楽しんでいました。

↓工事の安全を祈願する関係者



## 機械、空調など大規模改修

湯楽里、来年4月リニューアルオープン予定

ゆのまえ温泉「湯楽里」の改修工事安全祈願祭が10月11日に現地で行われ、関係者40人が出席。期間中の無事故を祈願しました。湯楽里は平成10年に開館し、21年が経過。老朽化したことから、温泉機械の設備や空調、照明のLED化など初めて大規模な改修工事を行います。来年1月中旬から3月上旬にかけて全館休業し、4月のリニューアルオープンを目指します。

↓地域の交通安全のために団結を深めた



## 交通安全、愛情持って守ります

上球磨交通安全母の会ビーチバレーボール

上球磨交通安全母の会が主催するビーチボールバレー大会が10月10日にB&G海洋センター体育館で開かれ、管内の町村から14チーム約100人が出場。汗を流しながら、交通安全への意識を高めていました。

「交通安全は家庭から」を掲げ、選手が「愛情と熱意をもって地域の交通安全を守ります」と宣誓。本町からは2チームが出場し、はつらつとプレーしました。

## 日本遺産や新指定文化財も掲載

「湯前の文化財」を14年ぶりに改訂しました

教育員会は「湯前の文化財」を14年ぶりに改訂し、新指定の文化財や日本遺産に認定された「相良700年の物語」の内容などを盛り込みました。

町内外に本町の文化財を広めようと、平成2年に初版を発行。改訂版はB5サイズの86頁。ことしの3月に300部を作製しました。

以前の内容に加えて、昨年県指定重要文化財となった御大師堂や4年前、八勝寺の保存修理工事で判明した新事実など、14年分のできごとを追加しています。指定文化財以外の地区の石塔や城跡なども掲載していて、仏像の部材の説明などにも写真や図を使用。基本からくわしく本町の文化財を知ることができる一冊です。



↓入門からガイドまでさまざまに活用できる一冊

一部は関係施設や小中学校に寄贈し、中央公民館でも1500円(税別)で販売しています。文化財の入門書として、町内を巡る旅のお供として、ぜひお買い求めください。

## 勢いに乗る、低学年男子

空手クラブ「陽心館」の多数選手が2大会で入賞

本町の空手クラブ「陽心館」(藤岡孝史<sup>たかみ</sup>代表)は9月中に開かれた第49回城南地区空手道選手権大会(八代市)と第40回天神旗少年空手道大会(福岡県)に出場し、多数の選手が入賞しました。中でも石神絵翔<sup>かいと</sup>さん(湯前小3年=古城)が個人組手で2大会連続の優勝を果たすなど、低学年男子の活躍が光りました。

<城南大会>

■個人組手・男子

- 小学3年 ①石神絵翔 ③恒松竜乃介
- 小学4年 ③那須優斗 ベスト8 石井進太郎、桑原優輝

■同・女子

- 小学6年 ③石井愛子

<天神旗>

■個人組手・男子

- 小学低学年 ①石神絵翔 ③恒松竜乃介 ベスト8 桑原優輝
- 小学4年 ④村山匠人 ベスト16 那須優斗
- 小学5年 ベスト16 多良木智稀

■個人組手・女子

- 小学6年 ②多良木姫愛来 ④石井愛子 ベスト8 清川真帆

↓賞状とメダルを持ち、笑顔の選手たち



- 中学3年 ②別府光美

■個人形・女子

- 小学6年 ベスト8 石井愛子

※広報湯前9月号掲載「文部科学大臣杯第62回小学生・中学生全国空手道選手権大会」の結果に下記の漏れがありました

低学年団体男子・組手 5位(石神絵翔、恒松竜乃介、石井進太郎)  
3年男子・組手 ベスト16 桑原優輝  
4年男子・組手 ベスト16 村山巧人



1\_綱引きは笑顔で対面勝負 2\_思うようには入らないボール 3\_ナイスプレーに拍手喝采 4、8、9\_仮装でフォークダンスと湯前音頭を盛り上げる 5\_真剣勝負の1500m走 6\_手をつないで仲良くゴール 7\_大量得点目指して「よいしょ」 10\_栄冠のトロフィーが並ぶ 11\_お宝を吊り上げてニッコリ 12\_両手を上げて、勝利を喜ぶ

13\_自然と飛び出たガッツポーズ 14\_プレーを見守る側も笑顔 15\_地区テント前のゴールをめがけてショット 16\_会場がわくような僅差の勝負 17\_飲料を販売する青年団 18\_あとは任せた 19\_最後まで得点分からないドキドキの「人生いろいろ」



■湯前町体育功労者表彰  
 落合諒（陸上）  
 石井愛子（空手）  
 多良木姫愛来（シ）  
 清川真帆（シ）

■躍進賞 上里3  
 ※前回17位から今回4位

■競技結果

①野中田3	113点
②野中田1	106点
③瀬戸口	100点
④上里3	98点
⑤上村	95点
⑥下染田	92点

本町は第61回湯前町民体育祭を10月13日に町民グラウンドで開き、18地区が11種目を競技。地区、年齢、性別を超えてみんなで笑い合い、交流を深めていました。  
 野中田3が大縄跳びで24回成功するなどして総合113点を獲得し、3大会連続で優勝を果たしました。

フォトレポート1 きずなが深まった「第61回湯前町民体育祭」

# 笑顔の祭典。



湯前小学校



1,2\_ 両団全力の応援合戦  
3\_ やったね、万歳でゴール  
4\_ 6年生親子のスキンシップ  
5\_ ダンスで生き生き  
6\_ 追いかけて、追いかけて、笑顔の騎馬戦



# 百花繚乱

フォトレポート2 みんなが輝いた「運動会」

湯前保育園



1\_ 足並みそろえて親子で出発  
2\_ 気合を入れて太鼓を「どんっ」  
3\_ 笑いもボールも止まらない  
4\_ みんなで走るの楽しいね



慈光こども園



1\_ 大人顔負けの演舞  
2\_ 総力戦の綱引き  
3\_ 一番目指して頑張るぞ  
4\_ 頑張った証の金メダル  
5\_ 笑顔でジャンプ



## Dietary habits

### 管理栄養士だより

## 食材選びでエネルギーダウン

11月14日は世界糖尿病デー

「木綿豆腐と絹豆腐」「焼き魚のさばと鮭」、どちらのエネルギーが低いか知っていますか？ 食材の選び方を変えると、エネルギーを減らすことができます。

似た食品のエネルギーを比べてみると ...

	食品	エネルギー	食品	エネルギー
肉	豚バラ肉	386kcal	豚ロース肉	263kcal
	鶏むね肉	244kcal	鶏むね肉(皮なし)	121kcal
	豚ひき肉	221kcal	鶏ひき肉	166kcal
魚	焼きさば	271kcal	焼き鮭	177kcal
	まぐろトロ(刺身)	352kcal	まぐろ赤身(刺身)	93kcal
	ツナ(油漬)	288kcal	ツナ(水煮)	97kcal
大豆製品	木綿豆腐	72kcal	絹豆腐	56kcal
	調整豆乳	64kcal	無調整豆乳	46kcal
乳製品	普通牛乳	67kcal	低脂肪乳	46kcal
	クリームチーズ	346kcal	カテージチーズ	105kcal
その他	メロンパン	390kcal	クリームパン	305kcal
	甘酢らっきょう	58kcal	野沢菜漬け	12kcal

※食品 100gあたり

管理栄養士 田中 朋子

## 戸籍の窓

### お誕生おめでとう

高木 花波 凌 (上村)  
尾方 來弥 暁哉 (野中田3)  
樋口 礼人 孝二 (古城)

### ご冥福をお祈りします

黒木 一理 (上里2)  
尾方 誠也 (下村)  
池崎 仁一郎 (野中田1)

### 香典返し

山本 町子 (浅鹿野)  
尾方 猪八郎 (下村)  
黒木 チカ子 (上里2)

令和元年9月1日～30日

## ライフスタイルに合わせて選ぼう

### 生ごみ処理機器の特徴

町の補助金を使って生ごみ処理容器を購入しませんか？

タイプ	処理方法	特徴
家庭用電動生ごみ処理機	乾燥型	【長所】操作が簡単、コンパクト 【短所】乾燥物の取り出しが必要、電気代がかかる
	バイオ型	【長所】生成物を取り出さなくて済む 【短所】菌床の交換が必要、電気代がかかる サイズが大きい、野外タイプは雨や冬が不便
家庭用手動かくはん式生ごみ処理機	手で生ごみをかき混ぜ、微生物を利用し、発酵分解	【長所】生成物を取り出さなくて済む、コンパクト、電気代がかからない、安い 【短所】手動、菌床の交換が必要
生ごみたい肥化容器(コンポスト)	微生物を利用し、生ごみを発酵分解させ、たい肥化	【長所】電気代がかからない、安い 【短所】臭いや虫が心配、野外タイプは雨や冬が不便

### 生ごみ処理機(電動型)...

購入価格の2分の1まで(限度額3万円) ※1世帯1台まで

### 生ごみ処理容器(コンポスト)...

購入価格の2分の1(限度額3千円) ※1世帯に2個まで

くわしくは...保健福祉課環境衛生係へ ☎0966(43)4112

11月の不燃物収集は

**6日、20日**  
(第1・3水曜)

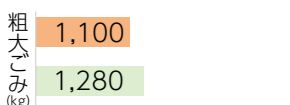
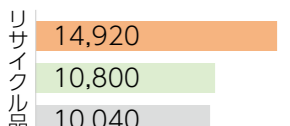
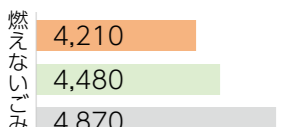
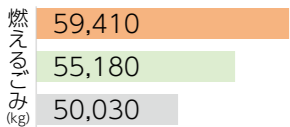
## Ecolog

### ごみ情報

9月の一人当たりのごみの量

15.94kg(先月から0.96kg減)

※リサイクル品を除く



## Health

### 保健師だより

## 自殺を防ぐための支援

湯前町自殺対策推進計画を策定しました

自殺対策推進計画の取り組みは「生きる支援」という視点が大切なため、さまざまです。

### ■内容

- ①助けを求める大切さを周知
- ②見守り、つなぐ人材を育成  
悩みに気づき、見守りや専門家へつなげる人を増やす
- ③地域、職場、学校での心の健康づくり  
ストレスやその要因を減らす方法を学ぶ機会をつくる
- ④早期発見や適切な精神科医療を受けられる仕組み
- ⑤相談窓口を設置し、悩みに応じた対策
- ⑥心のケアで未遂者の自殺企図を防ぐ
- ⑦残された人への支援  
遺族のためのグループなど地域の活動を支援

- ⑧子ども・若者  
ストレスの対処方法を学ぶ活動を支援
- ⑨雇用や勤務問題  
研修や相談窓口設置を支援
- ⑩熊本地震の被災者  
支援者や避難者の心の問題に対応
- ⑪各機関の連携強化や団体の活動を支援

保健師 野々原 亜紀

## Books

### 読書のススメ

中央公民館図書室 ※貸出期間2週間/一人5冊まで

○平日 午前8時30分～午後5時 ○土日・祭日 午前9時30分～午後5時

☎教育委員会 ☎0966(43)2050



監督自ら執筆した原作小説

### 天気の子

新海 誠(著) KADOKAWA

高校1年の夏、帆高は離島から家出し、東京にやってきた。連日降り続ける雨の中、帆高は不思議な能力を持つ少女・陽菜に出会う。「ねえ、今から晴れるよ」。それは祈るだけで、空を晴れにできる力だった。

舞台は、地域医療支援病院から大学病院へ

### 新章 神様のカルテ

夏川 草介(著) 小学館

信州にある「24時間365日対応」の本庄病院に勤務していた内科医の栗原一止は信濃大学医学部に入局。29歳の肺癌患者の治療方法をめぐり、局内の実権を掌握している准教授と激しく衝突してしまう。

異色の医師の挫折と成長の物語

### 19歳で人工肛門、偏差値30の僕が医師になって考えたこと

石井 洋介(著) PHP研究所

生死をさまよう大手術で大腸を全摘出。人工肛門を閉じる手術を受け「残りの人生は人のために生きよう」と消化器外科医に。スマホゲーム「うんコレ」を開発した異色の医師の挫折と成長の物語。

遊びを通して広がる世界

### タコやん

富安 陽子(著) 福音館書店

玄関のドアから入ってきたタコのタコやん。タコやんは、8本の足でゲームのコントローラーを操ったり、サッカーでも大活躍。「タコやん、すっげえ!」しょうちゃんも友だちもみんなびっくります。

↓ 幻想的な境内



## 400個が幻想的に

9月26日に城泉寺のライトアップを行いました。辻・瀬戸口地区の皆さんと一緒にペットボトル灯ろうを作成し、境内に400個を並べることができました。昨年までは町内の子どもたちに描いてもらった絵をLEDキャンドルで灯したのですが、今回は初の試みとして本物のキャンドルを使用しました。来年はまた、子どもたちと一緒におしゃれな灯ろうを作りたいと思っています。

↓ 温かい気持ち駅舎の中に



## 優しい生け花

湯前駅の改札ホームはあまり装飾もなく閑散としています。実は生け花が飾ってあるのを知っていますか？これは本町在住のある女性が「生け花を飾ることで、少しでも湯前駅を利用する人たちが温かい気持ちになれば」という思いで飾られているそうです。観光客も増えているので、どんどんまちを盛り上げていきましょう。



リポーター  
けんや  
椎葉 賢也

## 地域おこし 協力隊's Diary

隊員「目線」でレポート

▼普段から温かな雰囲気私を迎えてくれたいたボランティア連絡会の皆さん。この優しさは湯前の宝物だと感じていたことから特集を組みました。取材先で会うことも多く、一人一人が地域の中で活躍されています。自分のため、いつか地域のためになる。そんな気持ちを持つ人が増えていくと良いですね。

▼口をそろえるのは「家族の存在」。私も最近家族のありがたみを強く感じるようになりました。家事や子育て、ペットのお世話まで。家族みんなの支えがあつてこそ仕事をすることができています。いつの日か、支えられている以上に、支えられるようになりたいものです。

▼馬場地区のコスモスの写真を撮りに行ったところ「あんたも飲んでいきなせ」と誘われ、楽しいひと時を過ごさせていただきました。熱い話から笑い話まで、広がる会話と尽きない焼酎。地域の中での「飲み」に「ケージン」も大切な会話のツールの一つだと実感しました。(丸)

## 編集後記

ゆるっと近況報告



## 乗る前に猫バンバン

最近、朝と夜が冷え込んできましたね。この時期になると生まれたばかりの子猫や親猫が寒さをしのぐために、車のエンジンルームに入り込むことが多くなります。乗る前にボンネットをバンバンたたくことで入っていた猫たちが出ていきますので、朝、出勤する前に猫バンバンしてみませんか？

Community

## 青年団だより

令和元年  
No. 4



広報部長  
みつき  
森川 末月

肌寒くなり、気温の変化についていけない今日この頃ですが、青年団員はみんな元気に活動しています。文化祭では、約2カ月のきつい練習を乗り越えた成果が出ました。来年はもっと上を目指し、全国大会に出場できるよう頑張ります。

### これまで

9月7日(土)、8日(日) **球青協文化祭**  
総合成績 3位(舞踊 3位、ダンス 3位、合唱 3位、その他展示品数点受賞)

16日(月)、17日(火) **通学合宿協力**

16日(月) **湯愛敬老会** 舞踊披露

28日(土)、29日(日) **九州青年祭** 宮崎県椎葉村

10月5日(土) **大交流会**

22日(火・祝) **球青協スポーツレクリエーション**

### これから

11月3日(日) **町民文化祭** 舞踊披露、バザー出店

10日(日) **漫画フェスタ** バザー出店



Instagramで読み  
込んで活動をチェック



みんなで練習を頑張った文化祭

Sport

## 選手へ温かい声援をお願いします

第67回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会

■日にち 12月15日(日)

■発着点 人吉城跡ふるさと歴史の広場前

■監督 岩野昌英、桑原成吾、椎葉太

■主将 福屋博樹

■候補選手

椎葉太、北崎順也、古賀宏、永田洋介、荒木龍二、福屋博樹、桑原成吾、植木圭一郎、大野慎也、椎葉祐介、葉山修英、橋本康平、工藤正明、工藤祐二、工藤孝昭、田代翔也、稲葉翔太、多田恵太、合志泰紀、大平修市、永田幸太郎、山崎隼汰、大山亮仁、椎葉亮太、江夏樹李、中田光、中田翔、福屋渉、篠宮光陽、北崎雄一郎、中田優輝、落合諒、中村孔亮、北崎央真、佐々木献人、浜崎魁世、永田悠大、栗原泉、永瀨香琳、椎葉愛華、庄籠珠有、深水帆乃華、中田有咲、中田幸恵

【マネージャー】高木堅介、椎葉弘樹、右田千晴、黒木あさみ

■問い合わせ B&G海洋センター ☎0966(43)4555





Information

一次試験

期日 **12月1日(日)** 午前8時30分～

場所 **湯前町保健センター**

応募期間

**11月19日(火)まで**

平日の午前8時30分～午後5時

※郵送は当日消印有効

【申込先・問い合わせ】 湯前町役場総務課  
住所 〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1  
☎0966(43)4111



湯前町職員を募集します  
ともに描こう、町の未来を。

◆資格区分、採用予定人数

※見込みを含むが、採用時までには取得すること

区分	職種	採用予定数	受験資格
高等学校卒業程度	一般事務	2人程度	昭和54年4月2日～平成14年4月1日生まれの人
資格免許職	保健師	1人	昭和54年4月2日以降に生まれ、保健師の資格を持つ人※

共通受験資格・・・①日本国籍を持つ人 ②地方公務員法第16条各号に当てはまらない人

◆一次試験内容 ※択一式

程度	区分	出題内容
一般事務	教養試験(高卒程度)	一般知識(社会・人文、自然、時事)、文書理解、判断・数的推理、資料解釈
	適性検査(事務適性・性格診断)	作業能力(適応性、正確さ、迅速さなど)、職務への適応性
保健師	専門試験	公衆衛生看護学、疫学、保健統計学、保健医療福祉行政論
作文試験		文章での表現能力をみる筆記試験 ※受験者全員

■ 申込用紙の入手方法

- ①役場総務課で受け取る
- ②郵便請求…表に「湯前町職員採用試験申込請求」と朱書きし、140円切手を貼った返信用封筒を同封し郵送
- ③ホームページからダウンロード

■ 郵送での提出方法 ※直接持参も可

84円切手を貼った封筒(宛先、郵便番号を明記)を同封し、表に「湯前町職員採用試験申込」と朱書した封筒に入れて、簡易書留郵便で送付

■ 11月26日(火)までに受験票が届かないときは  
総務課へ問い合わせてください

■二次試験

期日 12月中旬～下旬予定

内容 面接

■給与など

- ▷一般事務(高校卒)初任給147,100円～
- ・初任給は最終学歴や職歴に応じて決定
- ・各種手当あり